

Kamakura Gallery

Tel.81-467-32-1499 E-Mail. info@kamakura.gallery Homepage. www.kamakura.gallery
4-1-11 Kamakurayama Kamakura 248-0031 Japan 〒248-0031 鎌倉市鎌倉山 4-1-11

鎌倉画廊

P.1/2
2018年9月

PRESS RELEASE

川内理香子 個展

“human wears human / bloom wears bloom”

会期：2018年11月10日（土）～12月28日（金）

11月10日（土）

14：00～ アーティストトーク

川内理香子 × 芦川朋子（WAITINGROOM オーナー、ディレクター）

*詳細、予約はウェブサイトにてご案内

16：00～18：00 オープニングパーティー

会場：鎌倉画廊 〒248-0031 鎌倉市鎌倉山4-1-11 TEL：0467-32-1499

E-MAIL：info@kamakura.gallery URL：http://www.kamakura.gallery/

開廊時間：11:00～18:00 休廊：日曜・月曜・祝日（11/23、12/24）

協力：WAITINGROOM

JR東海道線・横須賀線 大船駅 南改札・東口 京浜急行バス4番のりばより乗車、「鎌倉山」停留所下車

JR横須賀線 鎌倉駅 東口 京浜急行バス6番のりばより[鎌4/鎌5/鎌6]乗車、「鎌倉山」停留所下車

鎌倉山バス停からすぐ（ホームページ上にバス停付近の地図がございます）

*鎌倉駅よりタクシーをご利用の場合は西口からご乗車下さい。

※お問合わせは高橋まで（作品写真が必要な場合はお申し付け下さい。）



【展覧会概要】

この度、鎌倉画廊では初出展となります川内理香子の新作個展を開催致します。制作の動機に「身体」という原点を持つ川内は、最も生々しく身体を感じる行為である「食」を起点に、肉体的・心理的な人間同士のコミュニケーションや関係性、また思考と身体のような主従のバランスが曖昧な相互関係に関心を置き、制作を続けています。自身の身体を、「自分のようでいて他者のように感じる」と言い、思考が支配しているようで、実は空腹や欲求などを主張する肉体に、自己をコントロールされているような意識を持つ作家は、幼いころから食への行為に敏感であったため、その行為に代えるようにさまざまな食べ物を描いてきました。シンプルな線と淡色で描かれたそれは食欲をそそるといふより、対象を解剖図的にスケッチしたような生々しい印象を与え、時に人体の一部と融合し、その境界は変容します。また、肉体や精神がさらけ出される状況や心理的な揺らぎを顔の皮が剥がれおちるイメージで表すとといった、内面的な容貌が大胆に外側へ具体化される独特な表現も目を引いてきました。作品は、生々しくも、余白の中に浮かぶ線描やフォルムから醸し出される無垢で大胆な潔さと相まって、不思議な軽やかさを失いません。

今展では、タイトル「human wears human / bloom wears bloom」やステートメント（下記）にも込められているように、人間や動植物がまとう特徴を剥いだその向こうにある根源的なかたちが模索されます。人間や動物の手と植物の葉のかたちや、内臓と果実や花といった、別なものなのにどこか似ているものたち。それら具体性の中に見え隠れする共通の抽象性を探る行為は、かたちという観点のみならず、表層の奥にある人間の内面性を探ることとも重ね合わされることでしょう。

ドローイングを中心に、キャンバスに針金を留めつけ人体のフォルムや文字をかたどった半立体作品、油彩、樹脂による彫刻など合わせて約40点を一堂に展示致します。

誰もが持つ身体やさまざまな形態から要素を取り出しては異なるものに溶け込ませ、共通する起源へと遡る物語に昇華させていく——。ますます注目の高まる新進気鋭の作家の新作群をぜひご覧下さい。

Kamakura Gallery

Tel.81-467-32-1499 E-Mail. info@kamakura.gallery Homepage. www.kamakura.gallery
4-1-11 Kamakurayama Kamakura 248-0031 Japan 〒 248-0031 鎌倉市鎌倉山 4-1-11

鎌倉画廊

P.2/2

【ステートメント】

人間、動物、植物、食べ物、あらゆる事物の細かなデテイルを剥いで目を細めると、
“共通の形”が見えてくる。ことがある。

アニミズム的思考では、人間や動物を差別化している身体的特徴を洋服や衣のように捉え、
それを“脱衣する”と皆同じ魂になるという。

事物が纏う固有性が削ぎ落とされた、裸の姿はどのようなものだろう。

ヴェールの奥に見え隠れする、あらゆる垣根を越える、根源的な感覚や形、存在に、
わたしは触れることができるのか。

2018年9月 川内理香子

【作家略歴】

川内 理香子

1990 東京生まれ 現在東京を拠点に活動中

2017 多摩美術大学大学院美術学部絵画学科油画専攻 修了

2015 多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻 卒業

個展

- 2018 human wears human / bloom wears bloom - 鎌倉画廊 (神奈川)
Tiger Tiger, burning bright - WAITINGROOM (東京)
- 2017 Something held and brushed - 東京妙案 GALLERY (東京)
NEWoMan ART wall Vol.7: Easy Chic Pastels 川内理香子 - NEWoMan ART wall
(JR 新宿駅ミライナタワー改札横のディスプレイ・ニューマン新宿 2F メインエントランス前・東京)
- 2016 ART TAIPEI 2016 - WAITINGROOM ソロブース, Taipei World Trade Center (台北・台湾)
Back is confidential space. Behind=Elevator - WAITINGROOM (東京)
- 2015 コレクターとアーティスト: 川内理香子 - T-Art Gallery (東京)
SHISEIDO ART EGG vol.9: Go down the throat - 資生堂ギャラリー (東京)

グループ展

- 2018 ミュージアム・オブ・トゥギャザー サーカス - 渋谷ヒカリエ 8/COURT (東京)
- 2017 spiral take art collection 2017「蒐集衆商(しゅうしゅうしゅうしゅう)」 - スパイラルガーデン (東京)
NEWSPACE - WAITINGROOM (東京)
ミュージアム・オブ・トゥギャザー展 - スパイラル (東京)
平成 28 年度第 40 回東京五美大連合卒業・修了作品展 - 国立新美術館 (東京)
- 2016 Stereotypical - GALLERY PARC (京都)
- 2015 デッドヘンジ/エステティック - HIGURE 17-15 cas (東京)
- 2014 第 1 回 CAF 賞入賞作品展 - TABLOID GALLERY (東京)
That I shall say goodnight till it be morrow - 新宿眼科画廊 (東京)
- 2013 凸展- TKP シアター 柏、アートラインかしわ 2013 (千葉)
Home Made Family - CASHI 冷蔵庫内 (東京)
Sleep No More - 多摩美術大学芸術祭 (東京)
- 2012 OTHER PAINTING XI - Pepper's Gallery (東京)
凸展- そごう 柏店、アートラインかしわ 2012 (千葉)
ドーナツのない穴 - 多摩美術大学芸術祭 (東京)

アワード

2015 年 SHISEIDO ART EGG 賞

2014 年 第 1 回 CAF 賞 保坂健二郎賞 / マネックス証券主催 ART IN THE OFFICE 2014

パブリックコレクション

高橋コレクション

アーティストウェブサイト

<http://rikacocacola.tumblr.com>

作品詳細

P.1 “bloom” 2018, watercolor and pencil on paper, 410x318mm

P.2上 “body: scone, profit roll, cheese cake” 2018, watercolor and pencil on paper, 454x380mm

P.2下 “limb” 2018, wire on panel, 1400x1100mm

